

740ファミリ用 740 PC4701エミュレータデバッグ V.1.00 Release 00 発売のお知らせ

740ファミリ用740 PC4701エミュレータデバッグ V.1.00 Release 00を発売しました。

1. 概要

本エミュレータデバッグは、統合開発環境High-performance Embedded Workshop V.4.00.03*
上で動作します。

- * 従来の統合開発環境TMおよびエミュレータデバッグM3T-PDxxやKDxxの特長ある機能を取り込み、ルネサスとして統一されたユーザインタフェースを提供します。V.4.00.03の詳細は、10月1日発行のRENESAS TOOL NEWS「High-performance Embedded Workshop V.4.00.03へのリビジョンアップのお知らせ」(資料番号 : RSO-HEW-051001D)を参照ください。製品の詳細についてはデータシートを参照ください。

2. 機能

本デバッグは、PC4701用エミュレータデバッグM3T-PD38 (740ファミリ用) 相当の機能を持ちます。

注 :

PC4701U, PC4701M, PC4701HS, およびPC4700Hエミュレータをサポートします。PC4701LおよびPC4700Lはサポートしません。

2.1 M3T-PD38との相違点

- (1) High-performance Embedded Workshopを使用したデバッグが可能です。またこれにより統合開発環境下でコーディング、ビルド、シミュレーション、およびデバッグの作業がシームレスに実行できます。

補足：

V.4.00.03環境下で使用するデバッガでは、ターゲットマイコンに関わりなくレジスタおよびメモリなどの基本デバッグウィンドウを同じ操作性で統一しています。(個々のエミュレータに依存するトレース機能やハードウェアブレイクなどのウィンドウは、従来のM3T-PDxxや KDxxの操作性を維持しています。)

3. 動作環境

ホストコンピュータ	IBM PC/AT互換機
OS	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, およびWindows 98SE

4. 注意事項

- (1) 本デバッガで、PDSDK COMキットで作成したアプリケーションを使用する場合、M3T-PD38との相違点は、RSOツール技術サポート窓口：csc@renesas.com までお問い合わせください。
- (2) 本デバッガでは、CB (Custom Builder) で作成したコマンドおよびウィンドウは動作しません。

5. M3T-PD38デバッガで発生していた制限事項の改修

本デバッガではM3T-PD38で発生していた以下の制限事項はありません。

- (1) 付属のユーティリティSetIp.exeを使用したとき、エミュレータにIPアドレス等を設定できないことがある。
詳細は2004年6月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38ご使用上のお願い"を参照してください。

6. 入手方法

以下のダウンロードページからダウンロードしてください。

日本語版

英語版

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.